

焙煎蕎麦による

「夜久野そば」ブランドの再生

有限会社やくの農業振興団

代表取締役

営業担当

中島 俊則
なかしま しる

嶋田 透
しまだ とおる



中島俊則さん（左）と嶋田透さん

平成26年度 採択事業

夜久野地域の農家・農村を守る「やくの農業振興団」を設立

京都府の西北部、兵庫県との境に位置し、子午線（東経135度線）が通る町、福知山市夜久野町には府内で唯一の火山と呼べる「宝山」があり、麓には火山灰土で形成される夜久野高原が広がっています。昼夜の温度差が大きく、霧が多く発生するといった高原特有の気候と火山灰の土壌によって昔から良質なそばが育つことで知られていました。

かつてこの地で作られていた「夜久野そば」は、出石出身の旅芸人がその味の良さに刺激され、地元に戻ってから後、出石そばを世に出して有名になったという謂れもある位ですが、夜久野でのそば作りは徐々に衰退し、50年程前には姿を消していました。

また、全国的に農業の衰退が問題となり始めた頃、夜久野町でも農家の高齢化・後継者不足が深刻化します。このままでは地域の存立が危ぶまれるということから、夜久野地域の農家・農村を守り続けることを目的に有限会社やくの農業振興団が1998年に第3セクターとして設立されました。



そばの風味が堪能できる「そば宝」

「夜久野そば」の復活に地域活性の夢を託す

「我々は農家・農村の応援団です」と話す代表取締役の中島俊則さん。農産物の生産・販売、その委託請負、経理代行、作業受託、農林土木工事、庭木の選定、農機具の修理まで「農家から要望があれば何でもする」とい



上品な味わいが自慢の「京蕎麦丹波の霧」

農林水産物の活用

言葉通り業務は多岐にわたり、地域の農業を守るために日夜奔走しています。

「農業者が営農し続けるために『あなたも儲ける』、会社存続に必要なお金を『私も儲ける』ことが大事」という信念のもとで活動を続ける中、「地域振興の一環としてもう一度夜久野そばを作り、この町を盛り上げていこう」と考えた中島さんは、そば生産農家と商業・観光団体をメンバーにして設立した「そばGの会」と連携して、「夜久野そば」の復活と生産拡大に取り組みます。そば一本に的を絞ることで、これまで返却・縮小を進めていた耕作地も積極的に拡大していき、生産・製粉・加工・販売までも一貫して行うことで、地域産業の柱に育つことを目指します。

こうして復活を果たした「夜久野そば」は、京都産のそばとして催事などでも好感を得、販路は地元だけでなく東京にも拡大するほど知名度を上げてきました。

6次産業化で三方よしの経営を

「原料生産だけの農業経営から脱却し、そばで6次産業化して『農家も商工業者も我が社も儲ける三方よしの経営』に方針転換させたい」と意気込む中島さん。地元の製麺業者や飲食業者とも手を結んで「夜久野そば」のブランド化を進めながら、地域の農家と一緒に栽培面積を拡大しています。また、そばのつなぎに使う小麦を二毛作として作付けすることで、100%地場産を目指した商品づくりも進めています。

中でも、農商連携によって産まれたブランド商品「そば宝（だから）」は、地元産のそば粉と小麦粉を使用した逸品です。また、パッケージにもこだわった「京蕎麦丹波の霧」は、なめらかでやさしい喉ごしの麺に加え、散りばめたそば殻の感触が同時に楽しめる新商品で、今では贈答品として多くの引き合いがあります。

「夜久野そば」を使った特産品を増やすことが地域の活力を盛り上げることに

さらなる販路の拡大と新商品の開発を行うために、中島さんが次に手がけたことは「焙煎したそばの実」の活用です。従来、そばの実を焙煎してもそば茶としての使い途くらいしかありませんでした。しかし、焙煎することで香ばしい薫りがいっそう引き立つことから、この焙煎した実を製粉して利用すれば、ケーキやソフトクリームといったお菓子類をはじめ、既に存在する農産物加工品に対しても新しい商品の幅を広げる可能性が出てきます。



焙煎したそばの実

今回、ファンドの支援を受けて焙煎機を導入することができたこともあり、自前で焙煎したそばの実を製粉して、そば粉茶のティーバックやそば粉入りのパンケーキ、クッキーなど、ギフト用も含めた新商品の展開を図っています。また、「京蕎麦丹波の霧」に焙煎そば粉を練り込んだ新商品も開発し、グルメ&ダイニングショーなどの展示会では、インパクトのある香ばしい薫りに大変好評を得たということです。

今後は、協力体制が組める企業を増やすことで商品開発の「素」となる焙煎そば粉の生産量が高まることを目指し、「京都の新しい産品として全国的に『夜久野そば』の認知が広がり、福知山、ひいては京都全体でもそば生産が盛り上がり、農業そのものの活力を取り戻すきっかけになれば」と中島さんは願っています。



ギフト用の詰め合わせも用意

事業概要

有限会社やくの農業振興団

http://kyoto-shinkoudan.jp

代表：代表取締役 中島 俊則

業種：農業・卸売販売業

創業：平成10年4月

住所：〒629-1314 福知山市夜久野町小倉110-1

TEL：0773-38-1377 FAX：0773-38-1377